

要望書

令和8年2月24日

兵庫県三田市
市長 田村 克也 様

兵庫県三田市教育委員会
教育長 加嶋 幸彦 様

さんだ防災リーダー
会長

要望事項

三田市立小・中学校体育館への空調設備(エアコン)の設置について

理由

三田市立小・中学校の概ねの体育館は、災害対策基本法に基づき、地震・風水害等の災害発生時における「指定避難所」として重要な役割を担っております。被災された方々の生命と健康を守るため、避難所における生活環境、特に温度環境の改善は、最優先で取り組むべき喫緊の課題であります。

現在、三田市立小・中学校の体育館における空調設備の設置件数は0件と把握しており、以下のような深刻な課題が存在します。

災害時における避難者の健康・生命の確保

夏季の酷暑対策

昨今の地球温暖化による異常な猛暑は、避難生活における最大の脅威です。慣れない避難生活のストレスに加え、体育館内の高温多湿な環境は、高齢者や乳幼児、基礎疾患を持つ方々といった要配慮者を中心に、熱中症を引き起こす極めて高い危険性があります。

冬季の厳寒対策

三田市は地形的な特性から、しばしば「関西のシベリア」と表現されるほど冬季の冷え込みが厳しい地域です。暖房設備のない体育館での避難生活は、低体温症や循環器系疾患のリスクを高めます。また、寒さを理由に水分補給を控えることによる脱水症状・体調不良も懸念されます。

平常時における健康・安全の確保と教育・地域利用の向上

児童生徒の健康維持・体力づくり

夏季に熱中症警戒アラートが発令された際、屋外での体育や運動は制限されます。体育

館に空調設備があれば、アラート発令時でも屋内での体育活動が可能となり、健康維持・体力づくりに大きく寄与します。

地域住民の健康増進とコミュニティ形成

「スポーツクラブ 21 ひょうご」をはじめ、地域住民の方々が学校体育館を利用して運動する機会においても、快適な温度環境は運動機会の創出・維持に有用です。運動による健康増進だけでなく、人とのコミュニケーションを育む場としても機能し、地域コミュニティの活性化に繋がります。

要望の主旨と具体案

当会は、三田市立小・中学校の体育館全館への空調設備設置について、以下の4点を踏まえた計画的な設置を要望いたします。

1 国の補助金(空調設備整備臨時特例交付金等)の積極的な活用

体育館への空調設備導入に関しては、国(文部科学省)も自治体に対し、設置費用を補助する「空調設備整備臨時特例交付金」といった支援策を活用し、市の財政負担を軽減しながら早期に整備着手することを求めます。

2 近隣自治体の進捗状況の考慮

近隣の伊丹市や宝塚市では、既に体育館への空調設置が計画的・段階的に進められています。兵庫県全体の設置率も上昇する中、三田市においても避難所機能の格差が生じないよう、迅速な対応が必要です。

3 災害時の停電を想定した代替動力源(LPガス)の検討

災害による停電時でも空調機能を維持できるよう、LPガスを燃料とする「ガスヒートポンプエアコン(GHP)」の導入を検討してください。分散型エネルギーであるLPガスは災害時のレジリエンス強化に役立つと考えられます。

4 財政面を考慮した優先順位に基づく計画的設置

多額の費用を要する事業であるため、市の財政面を考慮すると、一度に全館設置が困難であると考えられますので、まずは「優先順位に基づく計画的な設置」が有効と言えます。優先順位の設定については、過去の各種災害での避難所開設や避難者の実績に基づき、想定される避難者数や年齢層、地域性などを考慮することが望ましいと考えられます。

市民の生命・健康を守る地域防災の拠点として、また市民が安心して利用できる環境づくりのため、格段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

以上